

富士山裾塚ウラジロモミ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 静岡森林管理署
所在地	静岡県富士宮市
面積	4.84ha
設定年	平成3年(設定)、平成30年(統合・名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	標高1,500m～1,600mの富士山の亜高山帯植生を代表するウラジロモミ、ハリモミ等の針葉樹にブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹が混交する天然林で、富士山の植生分布を知る上で貴重であることから、針葉樹と落葉樹が混交する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



保護林内の状況



ニホンジカによる剥皮被害

モニタリング調査概要

実施年度	平成21年、平成26年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ウラジロモミの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果を活用した。
結果概要	林相等に大きな変化はまだみられないものの、ニホンジカの採食圧による影響で下層植生が非常に少なく、保護対象種であるウラジロモミの稚樹や実生が少ない状況で、ウラジロモミの更新への影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。